

教科名	目的	内容	時間数	区分
2 認知症介護のための組織論				
(1)実践リーダーの役割と視点	介護現場の実践リーダーとして、介護理念を介護現場で具体化していくために、実践リーダーが担う役割と、実践リーダーがそのために身につけるべき考え方としての視点を明らかにすること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チームケアのあり方。</li> <li>・実践リーダーとしての自己理解と役割の理解。</li> <li>・他スタッフと関係の持ち方。</li> <li>・演習より講義内容を深める。</li> <li>・演習は60分以上であること。</li> </ul>	120分	講義＋演習
(2)サービス展開のためのリスクマネジメント	実践リーダーの役割として、虐待、拘束、人権擁護の内容とその対応を理解するとともに、認知症により日常場面で生じる高齢者の抱えるリスクを理解し、認知症介護を展開していく技能を身につけること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拘束、虐待の定義と具体的内容。</li> <li>・その対応方法。</li> <li>・人権擁護の内容。</li> <li>・成年後見人制度の内容と活用。</li> <li>・自由の保障と安全管理の関係。</li> <li>・認知症が生活場面に及ぼすリスクについて。</li> <li>・演習により講義内容の理解と具体的対応方法の体験的理解。</li> <li>・演習は90分以上とする。</li> </ul>	180分	講義＋演習
(3)高齢者支援のための家族支援の方策	実践リーダーの役割として、家族をどのように理解し、介護や支援を展開することが求められるかを理解し、家族支援できる技能を身につけること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の理解。</li> <li>・高齢者と家族との関係の理解。</li> <li>・自立支援のための家族の位置づけの理解。</li> <li>・演習による講義内容の理解と具体的援助技法の体験的理解。</li> <li>・演習は90分以上とする。</li> </ul>	180分	講義＋演習
(4)介護現場の環境を整える方策	実践リーダーの立場から、組織内の対人関係と介護の質を維持向上させるための職員のメンタルヘルスやストレスマネジメントの内容と方法を理解し、実践できる技能を身につけること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間の人間関係。</li> <li>・職場内のストレス。</li> <li>・職場のメンタルヘルス。</li> <li>・演習による講義内容の理解と具体的な援助方法の体験的理解。</li> <li>・演習は90分以上とする。</li> </ul>	180分	講義＋演習
(5)地域資源の活用と展開	実践リーダーの役割として、高齢者の能力に応じた生活を支援するために必要な地域資源(公的、非公的両方の地域資源)の内容と連携する方法を理解し、支援できる技能を身につけること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公的・非公的地域資源の内容。</li> <li>・地域資源との連携の方法。</li> <li>・演習による講義内容の理解と具体的対応方法の体験的理解。</li> <li>・演習は90分以上とする。</li> </ul>	180分	講義＋演習

教科名	目的	内容	時間数	区分
<b>3 人材育成のための技法</b>				
(1) 人材育成の考え方	積極的に人材育成に取り組んでいる具体的事例を用いながら、人材育成の目やねらい、方法、工夫点、課題を理解し、人材育成の重要性を理解すること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体例の提示。</li> <li>・具体例を通しての目的やねらい、方法、工夫点の提示。</li> <li>・人材育成の重要性と課題。</li> </ul>	90分	講義
(2) 効果的なケースカンファレンスの持ち方	実践リーダーとして、職員の意欲や動機付けを高める効果的なケースカンファレンスの持ち方の方法を学び、具体的な展開できる技能を身につけること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケースカンファレンスの内容。</li> <li>・事例提示の方法。</li> <li>・ケースカンファレンスの進め方。</li> <li>・演習による具体的な展開方法の体験的理解。</li> <li>・演習は120分以上とする。</li> </ul>	240分	講義＋演習
(3) スーパービジョンとコーチング	人材育成の方法であるスーパービジョンとコーチングの内容を理解し、実践できる技能を身につけること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパービジョンの内容と方法。</li> <li>・コーチングの内容と理解。</li> <li>・演習による講義内容の理解と具体的な技法の体験的理解。</li> <li>・演習は120分以上とする。</li> </ul>	300分	講義＋演習
(4) 人材育成の企画立案と伝達・表現技法	人材育成の方法として、職場を中心に人材教育や研修を行うに際して、必要となる教育研修カリキュラムの企画立案の方法と講義・演習・指導等を行う際の伝達表現の技法の基本を理解し、実際に展開する際の留意点を学ぶこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修カリキュラムの企画立案の方法。</li> <li>・講義・演習・指導等の方法。</li> <li>・効果的な企画立案、講義・演習・指導等の意義と重要性。</li> <li>・演習による講義内容の理解と具体的方法の体験的理解。</li> <li>・演習は60分以上とする。</li> </ul>	180分	講義＋演習
(5) 事例演習1	本教科「人材育成のための技法」の各単元を踏まえて、教科のまとめとして事例を用いて、介護現場で活用するための実践的な方法を身につけること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成、チームケアを具体的に検討し、各単元の理解を体験的に深めることができる事例の提示。</li> <li>・2事例は実施。</li> <li>・1事例は居宅事例であること。</li> </ul>	180分	演習
(6) 事例演習2			180分	演習

教科名	目的	内容	時間数	区分
<b>4 チームケアのための事例演習</b>				
(1)事例演習展開のための講義	「組織論」「人材育成」の教科を踏まえて、認知症介護のアセスメントとケアの基本的な考え方と方法を事例演習を通して身につけること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症介護のアセスメントとケアの基本的考え方。</li> <li>・チームケアの中で、実践リーダーの果たす役割。</li> <li>・チームケアを具体的に検討し、理解を体験的に深めることのできる事例の提示。</li> <li>・2事例を実施。</li> <li>・1事例は居宅事例であること。</li> </ul>	90分	講義
(2)事例演習1			300分	演習
(3)事例演習2			300分	演習
<b>5 実習</b>				
(1)実習課題設定	本研修の目的に基づき、「研修の自己課題」の内容と、講義演習の受講を踏まえ、研修成果を実践で活用できる知識・技術にするための実習課題を設定すること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の研修課題と研修の成果に基づいた実習目標の設定。</li> <li>・他施設の見学実習、職場実習の目標設定に際しての実習展開例(別紙に添付)を提示すること。</li> <li>・本研修目的に沿っていること。</li> </ul>	120分	演習
(2)実習1:外部実習	他の介護保険事業所への3日以上の実験実習を通して、自己の設定した課題を達成し、その成果を得ること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習課題に沿った実習の展開。</li> <li>・研修目的に沿っていること。</li> </ul>	3日以上	実習
(3)実習2:職場実習	職場での4週間の実習を通して、自己の設定した課題の達成をめざし、その成果を得ること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習課題に沿った実習の展開。</li> <li>・研修目的に沿っていること。</li> </ul>	4週間	実習
(4)実習結果報告を通してのまとめ	実習が設定した課題に沿って実施できたかを各自で振り返り、報告し、実習課題がどの程度達成できたかを評価すること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習課題に沿った実習展開の結果を整理し、報告する。</li> <li>・研修全体の自己評価の実施。</li> <li>・他研修生の自己評価の確認。</li> </ul>	1日	演習

## (2) 認知症介護指導者養成研修 標準カリキュラム

教科名	目的
<b>1 認知症介護研修の体系的理解(講義・演習26時間)</b>	
(1)認知症介護研修総論 (講義2時間)	実務者研修の基本的な目的、方向性を確認し、実務者研修の全体を構成する能力を修得する。
(2)教育・研修方法論 (講義4時間)	受講者像に配慮した教育的指導に必要な基本的知識を学習し、多岐にわたる認知症介護研修を企画していくための知識を修得する。
(3)講義・演習指導方法論 (講義・演習12時間)	実践研修(実践者研修、実践リーダー研修)の講義・演習項目の内容と方法について理解し、講義・演習課目の指導法を修得する。
①実践者(実践者研修)の講義・演習課目の理解 (講義・演習4時間)	
②実践研修(実践リーダー研修)の講義・演習課目の理解 (講義・演習8時間)	
(4)実習等指導方法論 (講義・演習8時間)	実践研修(実践リーダー研修)の実習の内容と方法について理解し、実習教育の指導法を修得する。
<b>2 認知症介護に関する方法・研究法の理解(講義・演習14時間)</b>	
(1)認知症介護方法論 (講義・演習8時間)	認知症介護に関するテーマについて、各分野からの専門的アプローチを学習し、認知症介護に関する学術的な理解を深める。
(2)認知症介護に関する研究法 (講義・演習6時間)	認知症に関する各専門分野の研究について理解し、研究の基本的な方法論を修得する。
<b>3 認知症介護の実践に対する指導(実習等40時間)</b>	
認知症介護の実践に対する指導	ケアプランを活用したチームケアに対する指導者の役割を認識し、その指導能力を修得する。

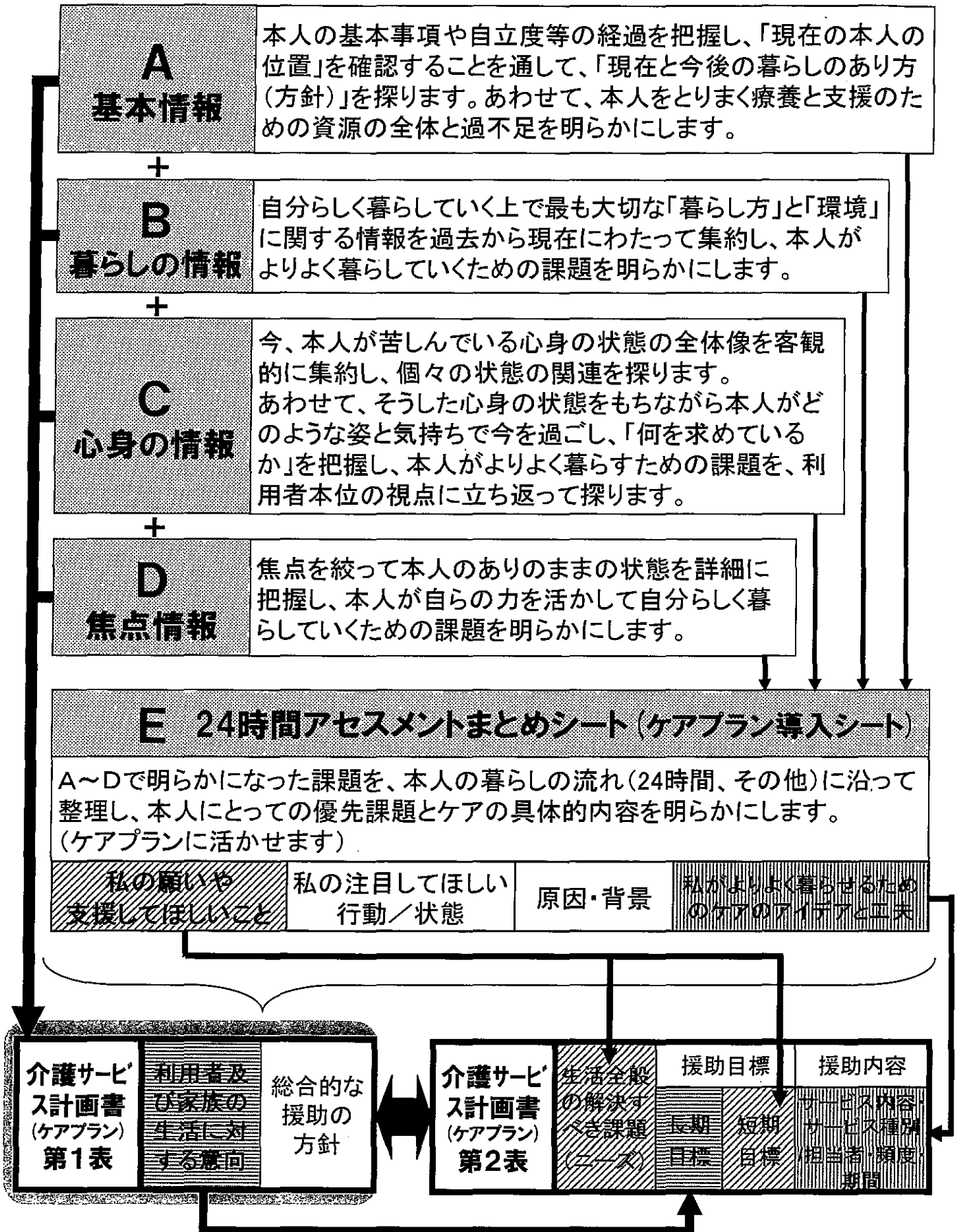
教科名	目的
4 実習等指導方法の実践的理解(実習等120時間)	
(1)演習指導の方法 (実習等24時間)	演習指導者の役割を認識し、その指導能力を修得する。
(2)実習指導の方法 (実習等40時間)	実習指導者の役割を認識し、その指導能力を修得する。
(3)教育実習 (実習等56時間)	実際に教育指導を実施することを通して、講師としての実践的な役割を認識し、その指導能力を修得する。
5 教育成果の評価(40時間)	
教育成果の評価	これまでの研修で行ってきた内容について成果を発表し、評価を行う。
※ 職場研修(約4週間)	
	<p>自らの職場等において、研修を通して修得した理念や方法を活用して次の2つの課題に取り組み、レポートを作成する。</p> <p>①介護の質の改善に向けた取り組みを行なうこと。 ②認知症介護に関する研究課題を自ら設定し、研究活動に取り組むこと。</p>

### (3) 認知症介護指導者フォローアップ研修 標準カリキュラム

テーマ	研修目標
1 最新の認知症介護知識 (講義・演習8時間)	最新の認知症介護の知識と指導方法等について理解を深める。
2 認知症介護における人材育成方法 (講義・演習8時間)	チームアプローチとリーダーシップ、スーパーバイズ、コーチングを中心に、認知症介護における人材育成方を修得する。
3 認知症介護における課題解決の具体的方法 (演習12時間)	認知症介護における課題解決の具体的方法を修得する。
4 認知症介護における効果的な授業開発 (研究授業12時間)	認知症介護研修における効果的な授業の企画・運営のあり方、研修の教育評価方法を修得する。

# 資料4 センター方式シートの全体構造

※シートをケアマネと現場職員・当事者が共に使ってケアを個別具体的に役立つプランを



# センター方式シートのねらい

※シート名に☀マークがあるシートはセンター方式シートの中でもコアになるシートです。  
どこから書けば・・・とシートの選択に迷ったら、まずは☀シートから書いてみよう。

●本人の声、△家族の声、そして○職員の気づきを

領域	シート名		ねらい
A 基本情報	A-1	私の基本情報シート	これらの情報はご本人のためのものです。全てのシートは「利用者本位」を忘れずに、ご本人(私)を主語に、ご本人の視点でご記入ください。
	A-2	私の自立度経過シート	私の自立状態が保てるように、私の状態と変化の経過を把握してください。
	A-3	私の療養シート	今の私の病気や、のんでいる薬などを知って、健康で安全に暮らせるように支援してください。
	☀A-4	私の支援マップシート	私らしく暮らせるように支えてくれているなしみの人や物、動物、なしみの場所などを把握して、より良く暮らせるよう支援してください。
B 暮らしの情報	B-1	私の家族シート	私を支えてくれている家族です。私の家族らの思いを聞いてください。
	☀B-2	私の生活史シート	私はこんな暮らしをしてきました。暮らしの歴史の中から私が安心して生き生きと暮らす手がかりを見つけてください。
	☀B-3	私の暮らし方シート	私なりに築いてきたなしみの暮らし方があります。なしみの暮らしを継続できるように支援してください。
	B-4	私の生活環境シート	私が落ち着いて、私らしく暮らせるように環境を整えてください。
C 心身の情報	C-1-1	私の心と身体の全体的な関連シート	私が今、何に苦しんでいるのかを気づいて支援してください。
	☀C-1-2	私の姿と気持ちシート	私の今の姿と気持ちを書いてください。
D 焦点情報	☀D-1	私ができること・私ができないことシート	私ができそうなことを見つけて、機会を作って力を引き出してください。 できる可能性があることは、私ができるように支援してください。もうできなくなったことは、無理にさせたり放置せずに、代行したり、安全・健康のための管理をしっかり行ってください。
	☀D-2	私ができること・私ができることシート	私かわかる可能性があることを見つけて機会をつくり、力を引き出してください。 私かわかる可能性があることを見つけて支援してください。もうわからなくなったことは放置しないで、代行したり、安全や健康のための管理をしっかり行ってください。
	D-3	生活リズム・パターンシート	私の生活リズムをつかんでください。私の自然なリズムが、最大限保たれるように支援してください。 水分や排泄や睡眠などを、介護する側の都合で、一律のパターンを強いないでください。
	☀D-4	24時間生活変化シート	私の今日の気分の変化です。24時間の変化に何が影響を与えていたのかを把握して、予防的に関わるタイミングや内容を見つけてください。
	D-5	私の求めるかわり方シート	私に対するかわり方のまなざしや態度を点検してみましょう。
E	☀24時間アセスメントまとめシート (ケアプラン導入シート)		今の私の暮らしの中で課題になっていることを整理して、私らしく暮らせるための工夫を考えてください。



# C-1-2 心身の情報(私の姿と気持ちシート)

居宅(通称介護利用)有り  
 (福祉利用に許可を得た方の例)  
 の一例としてあります。

◎私の今の姿と気持ちを書いてください。  
 ※まん中の空白部分に私のありのままの姿を書いてみてください。もう一度私の姿をよく思い起こし、場合によっては私の様子や表情をよく見てください。左側のように、様々な身体の問題を抱えながら、私がどんな気持ちで暮らしているのかを吹き出しに書き込んでください。  
 (次の記号を冒頭に付けて誰からの情報かを明確にしましょう。●私が言ったこと、△家族が言ったこと、○ケア者が気づいたこと、ケアのヒントやアイデア)

私の不安や苦痛、  
 悲しみは…

- 困った時は、  
 どうしてもかたが  
 (手帳を見ながら)
- △ 今更、学校の予定を  
 手帳に手帳に書いて  
 手帳からかた(要)
- 毎週子こを、その  
 前後、説明し、  
 予定をメモに書いて  
 振してあげ

私の介護への願いや  
 要望は…

- まったく、子供みたい  
 いく…  
 (ボール投げをしよう)
- 多量とゲームを  
 するの好き嫌い  
 一人でもあがる  
 本らしい髪を  
 採らしてみよう

私が受けている医療への願いや要望は…

- せこも悪くはないです
- △ とうとうから年寄りみたいで、  
 嫌な感じがする。(要笑)
- 先生に、～さんの思いを伝えよう

外に出る時は  
 必ず帽子を  
 かぶる



私が嬉しいこと、楽しい  
 こと、快と感じることは…

- とうとう、計算機  
 なんだ…  
 (笑いやから職員に教  
 えて)
- △ 私が家計簿を  
 つけていると、いつも  
 のどいてくれること(要)
- 数学の先生と、  
 一緒に本をよむこと  
 教えてもらう場面  
 を作る。

私がやりたいことや  
 願い・要望は…

- あんな、おもしろい  
 (笑いやから職員に教  
 えて)
- △ 毎週土曜日の  
 XX 講義場に行く  
 予定です。もうちょっと(要)
- 毎週おもしろい  
 ～さんと、おしゃべり  
 したいので、おしゃべり  
 したい(要)

私のターミナルや死後についての願いや  
 要望は…

- 昔の本に埋めて死ねたら本望  
 でした(要)
- 本を録音して、おしゃべり  
 したい(要)

★プライバシー・個人情報の保護を徹底してください。

◎認知症介護研究・研修東京センター(0503)

D-4 焦点情報(24時間生活変化シート) 名前 田中英治 記入日: 2004年 月 日 / 記入者:

◎私の今日の気分の変化です。24時間の変化に何が影響を与えていたのかを把握して、予防的に関わるタイミングや内容を見つけてください。  
 ※私の気分が「非常によい」から「非常に悪い」までの、どのあたりにあるか、時間を遡って点を付けて線で結んでください。  
 ※その時の私の様子や、どんな場面なのか、ありのままを具体的に記入してください。  
 ※数日記入して、パターンを発見したり、気分を左右する要因を見つけてください。

時間	気分							その時の具体的な様子や場面	影響を与えていると考えられる事	私の願いや、支援してほしいこと ●私が言ったこと △家族が言ったこと ○ケア者が気づいたこと、ケアのヒントやアイデア	記入者
	非常に悪い	悪い	悪い兆し	どちらでもない	よい兆し	よい	非常によい				
	-3	-2	-1	0	1	2	3				
4											
5								「シロ、シロ」 白文鳥に声をかけている おだやかな表情		○朝、気持ちよくスタート できると1日安定 ○昔の習慣の朝の熱いお茶 を本へに出そう	
6								スタッフの声かけで 朝食のため、食堂へ			
7								立ったり、座ったり落ちつ かない様子 スーパーへ行くと言う 職員が出かけようとする と玄関の方よりビンを 行き来して落ちつかなく なる	出かけたのに出かけられ ないから 職員がついて行けず、止め ている	●スーパーへ行く ○買い物に行って好きな食 べ物がほしい ○行く時間を、きちんと説明 する ○本人と、何を買うのか、会 話に発展させる	
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14								車いすで散歩に出かけ、 団子を買って公園で食べる にこここしている	好物の団子を食べ、店のお かみさんと世間話ができ たこと	●この団子おいしい ○外出することで、気分転換 が図られる。天気の良い日 も出かけよう	
15											
16								入浴(気持ちよさそうに していた)	きれいにすることは好む	○水分を少しでも多く摂 れるように入浴後、飲み たいものを出そう	
17											
18											
19								食後、居間～食堂をウロウロ	手持ちぶさた かつては仲間と晩酌しな がらの楽しい時間	○習慣の晩酌を再開して、 夕食をゆったりと、本人 と相談	
20											
21											
22								背中から脇腹にかけて掻 いている 脇腹が赤くなっている	皮膚が乾燥してかゆみが でてきている 入浴もしたが何もつけて いない	○イライラした表情 ●かゆみをなんとかしてほ しい ○受診し、医師の指示を受け よう	
23											
24								声かけで布団に入り眠る			
1											
2											
3								居室から出てくる トイレへ誘導、排便後、落 ちついて休む		○出てくる頃、注意して見守 り、声をかけすぎない。さ りげなくトイレへ	